

ひとりだち

きこえとことばの

支援センターだより

令和7年5月号



補聴器購入の流れ

みみの助

みなさんは、新しい補聴器が必要なとき、どうしていますか？補聴器は大変高価なものです。両耳に装着するためには2台必要ですから、簡単には購入できません。そこで、補聴器購入時に利用可能な補助金を受けられる制度があります。前の補聴器を購入してから5年が経過すると、補助を受ける申請ができます。身体障害者手帳のある人は補聴器の代金の一部が補助され、原則として1割の負担金で購入することができます。（所得によって例外もあります。）また、身体障害者手帳がなくても、軽度・中等度難聴の人は一部補助を受けられる場合があります。市町によって少しずつルールが異なるので、自分の住んでいる市町の役所へ問い合わせ、確認する必要があります。高等部のみなさんの中には、自分で申請の手続きをしたことがある人がいるかもしれません。まだ経験したことのない人も、いずれは自分で申請の手続きを行っていかなくてはなりません。今回の「ひとりだち」では、簡単な流れを紹介します。自分が使う補聴器です。次の申請のときには家の人や先生と相談しながら、少しずつチャレンジしてみませんか？

補聴器が壊れた！

新しい補聴器に変えたい！



住んでいる市町の役所へ行き、3つの書類を提出する。市町によって、必要書類が異なる場合もあるので、事前に問い合わせ、必要書類を確認することをオススメします。

2~4週間後…

- ・見積書
→ ナショナル補聴器や理研産業などの補聴器販売店で作成してもらいます。購入したい補聴器がいくらなのか計算してもらいます。
- ・意見書
→ 病院やみやこ園診療所で書いてもらいます。聴力検査の結果から、補聴器が必要であることを医師に証明してもらいます。
- ・補装具費支給申請書
→ 自分で身体障害者手帳を見ながら記入します。

住んでいる市町の役所から、家に支給券が届く。

・支給券

→ 「補助金を出すことが決定しましたよ」という書類です。

支給券を補聴器販売店に提出して、自己負担額を支払う。



新しい補聴器ゲット!!!

○補聴器の耐用年数は「5年」ということになっていますが、5年を過ぎても正常に動いている場合も多くあります。しかし、補聴器の性能はどんどん改良されています。そのため、補聴器に不具合がなくても、進学の節目等に購入を検討する場合もあるようです。また、18歳までは2台（両耳）が補助の対象となります。高等部卒業までに逆算して購入計画を立てるとよいですね。

6月 補聴相談の予定

* ナショナル補聴器センター …… 6月 4日、18日（毎月第1・3水曜日）

* 理研産業 …… 6月 11日（毎月第2水曜日）

場所 本館1階 補聴相談室 時間 13時30分～相談が終わり次第終了

※イヤモード作成、補聴器の不具合等の相談は、事前に担任を通じて補聴相談係への連絡後、申込用紙の提出が必要です。